

令和7年度 日本大学危機管理学部 個人研究費 研究実績報告書

所属：危機管理学部 危機管理学科

資格：准教授

氏名：加納 奈保子

研究課題名	19世紀米国作家Nathaniel Hawthorneの作品に表象される「レジリエンス」と「ケアの倫理」についての研究
研究目的及び研究概要	<p>昨年度に引き続き、19世紀アメリカ文学に表象される「ケアの倫理」の諸相を明らかにすることを本研究の目的とした。前年度の研究では、ナサニエル・ホーソーンの長編第二作『七破風の屋敷』に通底する「ケアの倫理」と、そこに描かれる女性たちのレジリエンスの表象について考察を深めた。</p> <p>本年度は、まずホーソーン最新の伝記研究を手がかりに、文学研究および文学教育における最新動向について検討を行った。加えて、昨年度に研究発表を行った、アメリカにおける為政者の肖像画の利用と『七破風の屋敷』における「描かれない者たち」の「顔」の問題に関する考察を発展させ、本学紀要に研究論文として投稿した。</p> <p>さらに、7月にはパリで開催されたThe 4th Poe and Hawthorne International Conferenceにおいて、関連する研究成果の発表を行った。</p>
研究実績の概要 研究の進捗状況・得られた成果・今後の課題・研究実績等	<p>ホーソーン作品分析を通して、19世紀アメリカにおける為政者の肖像画利用の歴史的意義を明らかにするとともに、肖像画として公に可視化されない「顔」をもつ人々の生を描き出す文学的手法について考察した。これらの研究成果は、研究論文、国際学会発表、書評、ならびに例会発表として公表した。</p> <p>【研究論文】 内堀奈保子 「暴力・レジリエンス・ケアの表象研究—『七破風の屋敷』における肖像画と女たちの顔」『危機管理学研究』査読有、第10号、2026年3月、68-79頁。</p> <p>【国際学会発表】 Naoko Uchibori, “The Dis/embodiment of Resilience Among the Women of the Pynchon Family,” The 4th Poe and Hawthorne International Conference, July 4th 2025, Université Sorbonne Nouvelle, Paris.</p> <p>【書評】 内堀奈保子 “Review of <i>The Life of the Author: Nathaniel Hawthorne</i>, by Dale Salwak.” <i>NHSJ Newsletter</i>, vol. 31, Mar. 2026, pp.105-10.</p> <p>【読書会発表】 内堀奈保子 「Reading of <i>The Life of the Author: Nathaniel Hawthorne</i>, by Dale Salwak」日本ナサニエル・ホーソーン協会東京支部読書会、2025年12月21日、於 日本大学。</p>